

研究協力をお願い

昭和医科大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和医科大学における前立腺癌患者の生検病理とロボット支援下前立腺全摘除術後病理の比較検討		
1．研究の対象および研究対象期間 2013 年 10 月から 2024 年 3 月までに昭和医科大学病院でロボット支援下前立腺全摘除術を施行した患者さんを対象		
2．研究目的・方法 生検病理結果と全摘後の病理結果はしばしば乖離がみられ、悪性度、リスク分類を正確に行えていない可能性があります。全摘に移行しない方であれば生検結果のみを用いてホルモン療法や放射線治療に移行する場合があります、正確な治療が提供できない可能性があります。 そこで本研究では、昭和医科大学病院でロボット支援下前立腺全摘術を受けた症例を対象に、針生検と前立腺全摘標本のグリーソンスコアの一致率および誤差の傾向を後方視的に検討します。		
3．研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで		
4．研究に用いる試料・情報の種類 患者背景（年齢、PSA 値、生検時グリーソンスコア（GS）、全摘時 GS、ECOG Performance Status） 病期（画像上の臨床 T 分類） 病理情報（摘出標本での腫瘍量、辺縁陽性の有無、病理 T 分類、グリーソンパターンの構成） フォローアップ期間（全生存期間、生化学的再発期間など）		
5．外部への試料・情報の提供 該当いたしません。		
6．研究組織 研究責任者 昭和医科大学病院泌尿器科 氏名 井上 達貴 研究分担者 昭和医科大学病院泌尿器科 氏名 深貝 隆志		

昭和医科大学病院泌尿器科	氏名 永田 将一
昭和医科大学病院泌尿器科	氏名 押野見 和彦
昭和医科大学病院泌尿器科	氏名 中神 義弘
昭和医科大学病院泌尿器科	氏名 山岸 元基
昭和医科大学病院泌尿器科	氏名 岡田 翔
昭和医科大学病院泌尿器科	氏名 黒川 聖容

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：	昭和医科大学医学部泌尿器科学講座	氏名：井上 達貴
住所：	東京都品川区旗の台 1-5-8	電話番号：03-3784-8560